都市景観設計マニュアルチェック表　　　共通編

■計画地の区分と特性

（１）計画地の地域（富士山等景観保全地域・富士山等眺望保全地域）　　　〔どちらかに○〕

（２）計画地のゾーン区分（　　　　　　　　　　ゾーン）〔計画書第４章を参照して記入〕

（３）計画地のゾーン別景観形成方針に関連する要点（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

■地域やまちなみの特徴として認識している事項

（１）地域の自然の特徴（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

（２）地域の歴史、文化の主な特徴（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

（３）地域を特徴づけている都市施設（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

■周囲からの計画地の見え方に関する事項

（１）市域を越えた遠距離（見通しのきく場所）から予想される計画地の見え方

□シンボルとしてよく見える

□場所がわかる程度

□まちなみに溶け込んで特定できない

□ほとんど見えない

□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

（２）市内の丘陵や空間のひらけた場所からの計画地の見え方

□シンボルとしてよく見える

□場所がわかる程度

□まちなみに溶け込んで特定できない

□ほとんど見えない

□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

（３）計画地を見ることができるごく身近な場所〔（　）内に名称を記入〕

□前面道路（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

□交差点（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

□公園（寺社の境内などを含む）（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 ）

□公共施設（学校、公民館、その他）（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 ）

□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

（４）遠、中、近景における配慮

遠景における配慮（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

中景における配慮（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

近景における配慮（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

■景観づくりのための基本事項

（１）関係者との調整と理解

□関連機関と調整済（調整機関：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

□地元住民や地元組織と調整済（調整相手：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

□地域のアイデアの採用（内容：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

（２）上位計画、関連計画などの前提条件の整理

□上位計画による位置づけ（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

□関連計画による位置づけ（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

□都市計画からの計画条件（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

□機能面から見た前提条件（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

□用地取得などの条件（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

（３）設計目標の設定の有無

□空間のゾーンニング計画をしている

□周辺地域の環境に考慮した計画をしている

□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

■快適で親しみのある公共空間に関する事項

（１）周辺の公共施設、民地の一体性の考慮

□公共施設の機能を周辺空間の利用状況と合わせている

□周辺の環境への影響を考えている

□周辺の公共施設と一体的整備をしている

□周辺の民地の景観づくりのための誘導、規制などを促す

□周辺を含めた総合的地区整備計画を立てている

□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

（２）車、歩行者の利便性と安全性、快適性の確保

□人と車の明確な動線を確保している

□利用目的に合わせ舗装材の選択をしている

□歩行空間の拡大に努めている

□通り抜け動線を検討している

□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

（３）うるおいのある公共空間づくりへの配慮

□緑豊かな空間づくりを意識している

□水による演出や水辺空間を計画している

□ストリートファニチャーを設置する計画を立てている

□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

（４）夜間における快適さ、美しさを演出への配慮

□夜間も安心して利用できるよう照明灯などを設置している

□夜らしい表情をつくるための照明計画を立てている

□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

（５）高齢者や障害者に対する配慮

□高齢者や障害者が支障なく利用できる施設面での対策がある

□高齢者や障害者が支障なく利用できる体制、システム面での対策がある

□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

（６）地域住民の誰もが利用しやすくなるための方策

□地域住民の生活形態に対応した機能を導入している

□多目的に利用できる空間を用意している

□利用形態を工夫している

□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

（７）計画的な維持、管理、利用形態の考慮

□維持、管理の費用を準備している

□維持、管理の作業を考慮している

□計画的な管理、改修を予定している

□管理者、利用者で維持、管理のための組織をつくっている

□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

都市景観設計マニュアルチェック表　　　景観計画重点地区編

■地区の姿に関する事項

（１）地区を最も特徴づけている要素

（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

（２）地区指定の趣旨　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

（３）地区の景観の特性と問題点に関するあなたの認識

（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

■景観計画の内容に関する事項

（１）地区の将来像や目標の考慮

（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

（２）地区の景観づくりの方針の考慮

　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

（３）地区の全体計画との整合性

（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

（４）沿道空間、道路空間それぞれの計画との整合性

（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

（５）事業の実施時期の計画性

　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

■地区景観形成基準に関する事項

（１）地区景観形成基準の遵守（考慮・工夫した点）

（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

（２）地区景観形成基準以外に良好な景観づくりに配慮した点

（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

（３）計画内容への維持管理の考慮

（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

都市景観設計マニュアルチェック表　　　建築物編

■景観を構成する建築物と付属物に関する事項

（１）空間のプロポーション

空間のプロモーションで考慮したこと

□敷地の形状や間口の位置

□建物の配置

・間口　・壁面後退　・燐棟距離

□道路幅員と建物高さ

・道路幅員　　・壁面後退

・棟高、軒高　・工作物の高さ

（２）建築形式

建築の形式決定に考慮したこと

□建築形式

□屋根の形状

・形状　・勾配　・向き

開口部の設計で考慮したこと

（３）開口部

□開口部の形状

・形状・寸法・壁面上の配置

（４）ファサードの表情

ファサードの設計で考慮したこと

□表層のデザイン

□ディテール

（５）材質、色彩

材質、色彩の設計で考慮したこと

□壁面や屋根の材質

・石　　・木材　　・煉瓦

・漆喰　・タイル　・瓦など

・コンクリート

□色彩材

（６）付属物

付属物の設計で考慮したこと

□外構

・舗装　・工作物　・芝

・樹木　・生垣

□屋外広告物・旗

□テント・アーケード

■地理的条件と建築物の設計に関する事項

計画地の条件について考慮したこと

（１）計画地の条件

□道路沿い

□河川沿い

□公園の近く

□その他（　　　　　　　　　　）

（２）計画建築物のまわりからの見え方

まわりからの見え方について考慮したこと

□景観がパノラミックに眺められる

□建築物が単体や群れとしてシルエットや

スカイラインを見せる

□建物が水辺や緑と一緒に見える

□建築物の背景に特徴的な景色がある

■市街地条件と建築物の設計に関する事項

（１）市街地の建築景観（計画地の場所）

計画地の条件について考慮したこと

□商店街

□住宅密集地

□官公庁業務地

□鉄道駅、バスターミナルの近く

□その他（　　　　　　　　　　）

（２）市街地の建築景観

まわりからの見え方について考慮したこと

（計画建築物のまわりからの見え方）

□都市のイメージとして眺められる

□都市のランドマークとして眺められる

□回りの建物と一定の秩序を持ったまちな

みとして見える

□建築物の付近に特徴的な景色がある

□その他（　　　　　　　　　　）

（３）一般住宅地の建築景観（計画地の場所）

計画地の条件について考慮したこと

□既存集落地

□新興住宅地

□近くに住宅はない（今後集落が形成され

る予定）

□近くに住宅はない（集落が形成される予

定は無い）

□その他（　　　　　　　　　　）

（４）一般住宅地の建築景観

まわりからの見え方について考慮したこと

（計画建築物のまわりからの見え方）

□地域のイメージとして眺められる

□地域のランドマークとして眺められる

□まわりの建物と一定の秩序を持った建物

群として見える

□建築物の付近に特徴的な景色がある

□その他（　　　　　　　　　　）

都市景観設計マニュアルチェック表　　　大規模造成編

■周辺になじむ造成に関する事項

（１）将来の土地利用やまちなみのイメージの理解

□周辺地域の現状と将来像を把握している

□将来の土地利用を調査している

□周辺状況を考慮した整備計画を立てている

□計画している建築物などの配置やデザインを検討している

□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

（２）周辺と調和する地域の景観づくりへの配慮

□地域の歴史的、文化的遺産に配慮している

□既存の地形を活用した造成を計画している

□まわりと調和する建築物のデザインに配慮している

□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

（３）周辺と調和する緑の景観づくりへの配慮

□既存の樹木、樹林などを保全・活用している

□地域の植生を考慮した緑化計画を立てている

□シンボルツリーや生垣などによって緑豊かな景観づくりに努めている

□周辺の緑との連続性が生まれるよう配慮している

□周辺地域と調和するよう緩衝緑地を確保している

□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

（４）うるおいを与えるための水辺空間の創出への配慮

□既存の水路、水面などを活用している

□緑を含めた生態系に配慮した場の保全に努めている

□噴水や水場などの水辺空間の創出に努めている

□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

（５）歩行者に配慮した空間づくりへの配慮

□敷地全体に歩行者空間のネットワークをつくっている

□広場などのオープンスペースの創出に努めている

□建築物と道や広場との連続性に配慮している

□水と緑が一体となったゆとりある歩行者空間づくりに努めている

□高齢者や障害者も安心して歩ける空間づくりに努めている

□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

（６）擁壁などの圧迫感をなくすための工夫

□擁壁の素材に自然石等を使い、まわりになじむよう工夫している

□擁壁を植栽で隠すなど、まわりになじむよう工夫している

□擁壁と敷地の造成を一体的に計画している

□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

（７）駐車場などを周辺になじむための工夫

□敷地全体の計画と一体的な配置を考えている

□駐車場が大規模なものとならないように分散して配置している

□地形の起伏や既存樹木を活用している

□周辺を植栽するなどまわりになじむように工夫している

□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

（８）夜間における快適さをつくり出すための工夫

□敷地全体の照明計画を立てている

□まちに個性を与えるような照明を考えている

□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）